



婦人帽子店 1935年 東京国立近代美術館蔵

中西利雄展

同時開催：収蔵作品展Ⅰ

休館日 月曜日(ただし5月3日の祝日は開館)、5月6日(木)
 開館時間 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
 入館料 大人700円(550円)、高校生500円(350円)
 小中生300円(150円) ※〔 〕内は30名様以上の団体
 シルバー 350円(すこやかカードをご提示ください)
 5月18日(火)は国際博物館の日のため、無料です。

交通 JR住吉駅、阪神魚崎駅のりかえ六甲ライナー
 「アイランド北口駅」下車

主催 神戸市立小磯記念美術館、田辺市立美術館
 後援 NHK神戸放送局

2004

4月17日 土 - 5月30日 日

前期：5月9日まで 後期：5月11日から

神戸市立小磯記念美術館

〒658-0002 神戸市東灘区向洋町中5-7(六甲アイランド公園内)
 Tel.078)857-5880

http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koso_museum/

中西利雄展 NAKANISHI TOSHIO



琉球 1922 (大正11)年

近代的な感覚の作風により、昭和期の水彩画に一線を画した水彩画家・中西利雄(1900-1946)の画業を回顧し紹介いたします。

中西は東京に生まれ、1922年東京美術学校に入学しました。同年、大正、昭和期の水彩画に新風を吹き込んだ「蒼原会」の前身である「東京三傑会」を結成し、以後も同会のリーダー的存在として活動し続けました。また、1928年から1931年にかけてパリを拠点にヨーロッパを旅して多くの画家達の作品を収集し、サロン・ドートンヌに2度の入選を果たしています。そして帰国後は『優駿出場』が帝展の特選を得、1936年には美術学校の同級生であった小磯良平、猪俣敏一郎と共に、純粋な芸術活動を目指す「新制作派協会」を結成するなどの活躍が見られます。

不透明水彩絵具を用いた大作を描き、革新的な制作を試みた中西の作品は、没後55年経った今でもその輝きを失っていません。本展は、彼の水彩画、デッサン、挿絵原画等約150点を展示替により紹介するものです。



森のカフェ 1931 (昭和6)年



優駿出場 1934 (昭和9)年 日本中央競馬会



少女像(B) 1942 (昭和17)年



紅葉 1938 (昭和13)年



劇画と女 1939 (昭和14)年 茨城県近代美術館 (前期のみ展示)



N夫人 1938 (昭和13)年 (前期のみ展示)

- ☆講演会 4月25日(日) 午後2時より「中西利雄の人と芸術」
講師/茨城県近代美術館 主任学芸員 山口和子氏
美術館2階絵画学習室にて(当日整理券を配布・定員80名)
- ☆解説会 毎週日曜日・午後2時より(約30分間)当館学芸員によるスライド解説
- ☆美術館大作戦1 <中西さんの水彩のみみつ> 定員20名/対象:小学1年~中学3年生
午後1時30分~4時(予定)/5月5日(水・祝)、8日(土)、15日(土)、22日(土)
〇往復はがきによる申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせ下さい。
- ☆アトリエ解説 午前11時と午後2時より(約20分) *他の催しと重なっている場合は時間が変更されます。

KOBE CITY KOISO MEMORIAL MUSEUM OF ART

次回展覧会のお知らせ

6月5日(土)~8月1日(日)

収蔵作品展Ⅱ (展示室1・2・3) 新装連載小説挿絵原画展「人間の壁」(一) (展示室2)

本館で収蔵する小磯良平の作品を展示します。展示室2では、1957年から59年にかけて朝日新聞に連載されました、新聞連載小説「人間の壁」(石川達三著)の小磯良平による挿絵原画を本展より数回にわたって紹介します。



美術館の地下には市営駐車場があります。